

潮寿 誌



平成30年2月18日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：2月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：伊藤まり子(69歳)

せつぶん

二月二日土曜日。潮寿荘ホールにて平成最後の福を呼び込むよう皆で邪気を祓う『節分』を行いました。

鬼に扮した介護士石黒、石岡、高橋が托鉢のお坊さんのように、そっと太鼓を叩きながら一列になって登場すると「礼儀正しすぎる。弱そうな鬼だ」と施設長。顔や格好は恐そうなのですが…。皆からは「しっかりねー」と声をかけられてましたねー。司会兼ナレーションの内村のかけ声「エイエイオー」「鬼は外福は内」とともに、みんな真剣な顔になり鬼目かけて丸めた新聞紙を一生懸命投げっていました。阡子さん、ハルさんは「早く、早くちょうだい」と介護士に玉をせかして命中させていました

よ。静子(原)さんは鬼が近づいてくると笑って投げられずにいましたね。今年の年女、栄子さん96歳、さださん96歳、きみえさん72歳に職員2名と年男の芳蔵さん84歳と職員1名は厄除けを行いました。それから鬼対職員の相撲対決では「もやし鬼」という野次も飛んで大いに盛り上がり、職員の勝利で鬼が退散し、歓声、拍手が上がっていました。最後は恒例の「鬼のパンツ」を職員全員、もちろん施設長ものりので踊っていました。みんなも手拍子でニコニコ顔でした。寒さや風邪、インフルエンザも皆さんの大きな笑い声で跳ね返したでしょう。その後、豆の代わりに出来たのポップコーンを食べ、和気あ



昼食

もやし鬼 (高橋介護士)

橋本事務長に軽々と持ちあげられもやし鬼



ポップコーンを食べてるまり子さん

ごめんなさい



石岡介護士

あいとした時間を過ごしました。

潮寿荘のみなさんに今年も福が沢山舞い降りて、健康で幸せでありますように・・・
(バレンタインに子持ち職員へかわ



笑顔で玉を投げる静子さん

優しい言葉

今年も去年のような大雪だったらどうしよう…と思いつつ2月になりました。入居者さんのご家族も雪かきや通勤など大変な思いをされている事と思います。私は北原から潮寿荘へ通勤しているのですが、それを知っているハルさんは毎朝「今日は雪大丈夫だったかい?」「道路滑らなかつたかい?」と声をかけて下さいます。他の入居者さんも「おはよう」「おはようございます」と朝から元気のいい挨拶をもらっています。仕事が終わるとホールでテレビを見ている阡子さんやタヨさん、芳蔵さん達が「今日もご苦労様」「お気を付けて」などスタッフの皆に声をかけて下さいます。本当にありがたいなあとつくづく思っています。今年私は私も年女(36歳?)なので節分で目一杯鬼に玉をぶつけましたし、入居者の皆さんにあやかっけて元気に歳を取っていきたいと思います。皆さん、いつも優しい言葉と笑顔を本当にありがとうございます。
(嵐口スで、記事では二回も年齢さばを読んでいる看護師・館山)



いいチョコを配る介護士・佐々木)

花咲か松野



入居者紹介

圭子さん編



1月25日、はこだてっ潮から潮寿荘に入所された圭子さんを紹介します。圭子さんは話し好きで、僕が話しかけると「お兄さんは何回も顔をみているのだけど名前がわからない」と言うので、僕はいつも自己紹介します。ある朝、圭子さんに好きな食べ物は何ですかと尋ねると「お兄さん」と言いました。僕はビックリ。今度は圭子さんが「お兄さんの好きな食べ物は何ですか」と聞くので僕も「圭子さん」と言いました。そしたら「エッチな人だねえ、嫌いだし」と言われてしまいました。そこで僕は少し

正月の飾りを片付けていると幸子さんから「寂しくなるから片付けないで」と言われました。私は「正月が終わったので片付けるけど、代わりに花を咲かせましょう」と幸子さんに約束しました。そして幸子さんがいつも座っているソファの横にテーブルをおき、チューリップの球根をペットボトルへ植えました。全部で16個です。すると、次の日にはもう根が生えてきました。幸子さんは「食事から帰ってくるたびに伸びているよ。」と。私は「幸子さん、それ

は目の錯覚ですよ。」と言いましたが、翌日からみるみる伸びて花が咲き、ビックリ!!3週間であっという間に花が咲きました。静子(原)さんも見るたびに「またおがってきた。早く咲くとこみたいいな。」と皆さん楽しみにされていました。
(カラオケでインフルエンザをうつされ寝正月の庶務主任・松野)
※マイクには注意しましょう!
※おがる↓成長する。実る。

落ち込みました。圭子さんは「冗談だよ」と笑ってくれたので、僕はまたそこで元気になる圭子さんと二人で笑いました。「やっぱり優しいお兄さんだねえ」と圭子さんに褒められ嬉しい気分になり、仕事もやる気がわきました。圭子さん、これからもよろしくお願いします。
(第2の人生を始めていけど半分あきらめている介護士・斉藤)

セツさん編



セツさんは、お話好きな陽気な入居者さんです。日中は穏やかに過ごされている日が殆どですが、食欲に火が付くと口癖のように「お腹減った」「食べたい、食べたい」と繰り返さ

れます。その時の表情は、目をうるませて、じっと職員を見るので食事を下さざるを得ない心境になります。ある入居者さんの食事介助をしている時でした。最後のデザート、プリンを食べた頂こうと目をやるとプリンが消えていたのです。おかしいな、不思議なことがあるのだなと思っていたら、近くに居たセツさんの口にプリンのカラメルシロップが付いているではありませんか。セツさんにプリンの事を問うと「おら、知らねえじゃ。知らね」と顔を背けたのでそれ以上は聞きませんでした。セツさんには今後食欲旺盛なまま元気に過ごしていただきたいと思っております。おわり。



成長の様子

(シムに通ってからエアロビのことばかり考えてる男性介護士・高寺)

3日 ひな祭り 特別喫茶 (さくらもち)

4日 鍋会食 (みそちゃん)

18日 " (豆乳)

21日 おはぎバイキング

3月の予定